

「岩手県消費者信用生活協同組合」の多重債務相談事例

居 住 地	盛岡市	
家 族 の 状 況	続 柄	仕 事 の 状 況 ・ 年 収 等
	本人（43歳） 妻（38歳）	会社員、年収400万 会社員、年収200万
資 産 の 状 況	土 地 建 物 そ の 他	なし
負 債 の 状 況	消 費 者 金 融	6 件 2, 5 9 1 千 円
	キ ャ ッ シ ン グ	件 円
	銀 行 系	1 件 1, 5 0 0 千 円
	買 物	件 円
	住 宅 ロ ー ン	件 円
	個 人 等	件 円
	そ の 他	件 円
	合 計	7 件 4, 0 9 1 千 円
相 談 に 至 っ た 経 緯	これまで2度も債務整理をしているにもかかわらず、夫のギャンブルの癖が直らないことから、妻が困り果て、来組となる。	
借 入 れ の 原 因	ギャンブル（パチンコ）のための借金	
借 入 れ 経 過	以前に整理を終えてから、ここ3年ぐらいの期間で、250万円もの借金を作る。 銀行からの借入れは、前回の整理資金の残金。	
ど の よ う に 聞 き 取 り を 行 っ て い っ た か	夫婦で来組したが、雰囲気は当初険悪なものがあり、ことにも妻は相談員の聞き取りにも容易に応じない雰囲気があった。ところが、夫が席をはずしたとたんに妻の態度は一変し、これまで夫の借金の尻拭いにどれだけ苦労してきたかを切々と語った。そこからは、妻との信頼関係を築くことができ、聞き取りはスムーズに進んでいった。	

1 回目の相談を終えた段階での本人の変化	負債については、自己資金で弁護士依頼。夫のギャンブルについては、依存症のレベルに達していたので、グループカウンセリングに参加することを検討してもらうことにしたところ、借金、その原因両方の解決策が見つかったことで、夫婦とも安堵感を覚えていた。
採用した解決方法とその結果	消費者金融からの借入れに関しては、自己資金で弁護士に任意整理を依頼。夫のギャンブル依存症については、精神科医を主催者とするグループカウンセリング（信用生協付属のNPOが開催事務を担当）に参加してもらうこととした。
解決に当たっての障害等	カウンセリングを受けたから直ちにパチンコの性癖が収まるわけではなく、来組後も2度ほどパチンコによる借金を作っている。そのたび、妻が預金から資金を捻出して、整理しているが、夫が一刻も早く立ち直ることが妻の切なる願いとなっている。
債務整理を終了しての本人の変化等	グループカウンセリングに参加するに当たり、精神科医から夫婦一緒にカウンセリングを受けてもらった。その際、これまでこれほどギャンブルについて夫婦で真摯に話し合ったことはなかった、こういう機会がもてて、お互いを理解するきっかけになるような気がするという感想を述べていた。